信濃毎日新聞　2011年7月1日

信州から広がれ道化師の輪

上田小学校を訪れ、児童たちと交流するクラウン

木曽　国内初「キャンプ」30人参加

全国の道化師（クラウン）が合宿で芸を磨く国内初の「クラウンキャンプ」が3日まで3泊4日の日程で、木曽郡木曽町の木曽文化公園で開かれている。小学生から大人までの、主にアマチュアの道化師30人余が参加。1日は同町上田小学校体育館で無料公演を行い、児童らを楽しませた。

キャリア20年以上の女性プロ道化師、ロネさんとジージさんの2人が主宰する「クラウン劇団 OPEN SESAME（オープン・セサミ）」（東京都）が主催。もともと米国で行われていたキャンプで、講師を務めたことのある2人が、日本でも道化師文化を広めようと企画した。

2007年、文化公園のスタッフが埼玉県で開かれた舞台技術の勉強会で2人の芸を見て以来つながりができ、キャンプ開催地になった。文化公園に宿泊施設があることも決め手になった。

上田小では、合宿参加の道化師たちが児童らと交流。ロネさんとジージさんがジャグリング（お手玉などの曲芸）などを披露した。上田小は学校統合で本年度での閉校が決まっており、6年の野田昂希君（12）は「いい思い出ができた」と喜んでいた。

道化師たちは合宿中、メークの仕方、観客とのコミュニケーションの取り方などをみっちり学ぶ。2日夜には文化公園で無料公演もある。ロネさんは「何となく楽しそうと思ってもらえるだけでもいい」と来場を呼び掛けていた。

ニュースボックス

「ふる里絵画」応募

ふるさとを見直す大事な時期。絵に残して一生の思い出

市北方1023の1「綿半ホールディングス絵画コンクール」

20人が犯罪や非行防止、更生への理解を呼び掛けた＝写

もあった。

副委員長の八幡雄治・長野